

滋賀県議会だより



No.93

編集・発行 / 滋賀県議会

7月定例会議の概要

7月20日～8月9日の21日間

7月定例会議では、「平成30年度滋賀県一般会計補正予算」をはじめとする知事提出議案21件と議員提出議案8件が上程されました。これらを審議した結果、いずれも原案のとおり可決または同意しました。

各委員会では、付託された各議案、請願その他所管事項について審査および調査を行いました。

●災害対応のための平成30年度一般会計補正予算を可決

災害に対応するため、総額で23億9,111万8千円の一般会計補正予算(第3号～第4号)を可決しました。

平成30年7月豪雨災害に伴う道路・河川等の土木施設や農地等の復旧、湖岸漂着物の処分に要する経費、地震に伴うブロック塀等の対策経費、米原市の竜巻被害の復旧経費等が計上されています。

7月定例会議における 質疑・質問から

県政運営

問 知事に再選された今、これからの4年間、県政を進めるにあたり、どのような心構えで臨まれるのか伺います。

答 選挙で県内をくまなく回り、本県は自然、水の恵みが豊かな瑞穂の国であることを改めて実感しました。
この豊かな自然を持続させていくためには、まずは地域が「健康」であることが重要との思いを強くし、「人の健康」「社会の健康」「自然の健康」を柱とする「健康しが」ということを申し上げてきました。

「健康しが」は県民みんなのできごとであり、県民の皆様をはじめ、市町や国、関係団体とも協力しながら、ともに考え、進めてまいりたい所存です。

2期目は真価を問われる4年になると受け止めています。自律と自制の念を新たにし県民の皆様との対話を重ね、共感を広げ、1期目とは異なる緊張感と使命感をもって県政運営にあたってまいります。

災害対策

問 平成30年7月豪雨を受け、本県が進めている流域治水政策の評価と、今後の流域治水の推進について伺います。

答 本県では、どのような洪水にあっても、命を守り壊滅的な被害を防ぐために、流域治水基本方針や流域治水条例を制定し、取り組んでまいりました。この取組の中で、全国に先駆け、「地先の安全度マップ」で浸水リスクを公表し、県民や事業者と広く共有するよう努めました。

しかし、このたびの西日本豪雨を受け、浸水リスク情報をお知らせし、適切なタイミングで避難いただく意識づけの重要性を改めて強く認識しました。

このため、「地先の安全度マップ」や「土砂災害警戒区域」などのリスク情報を、より分かりやすくお知らせするため、県庁ホームページのトップ画面から、直接閲覧できるように工夫を早急に行い、県民自らが身を守る行動につなげられるよう、啓発に努めます。

地域の特性に応じた「しがの流域治水」を着実に進め、ハード・ソフト一体となった水害に強い地域づくりを進めます。



文化

問 新生美術館の整備は、昨年8月の建設工事の入札不調を受け、県では外部有識者の意見も聞きながら設計見直し案を検討されてきたが、今後の進め方について伺います。

答 6月末から「新生美術館整備推進専門家会議」など2つの会議を開催したほか、文化財関係者や近代美術館関係者等に意見を伺い、「美術館は街のイメージを変える目玉となる施設である」、「一番のポイントは、琵琶湖文化館収蔵品の保管・収蔵である」など様々な御意見をいただきました。

これらを踏まえ、かつ本體工事費47億円を遵守すべく設計の見直し案の検討を重ねてきましたが、東京オリンピック・パラリンピックを控え、建設単価が高止まりすると想定され、県民や関係者の皆様の御期待に応える形で新生美術館の整備を行うためには、47億円に収めることができないと判断しました。

このため、見直し案による整備は一たん立ち止まらせていただきます。私としても大変重く苦しい決断であり、県民や関係者の皆様に、誠に申し訳なく、お詫び申し上げます。

今後の進め方については、新生美術館の施設・設備の狭あい化、老朽化や琵琶湖文化館の機能継承という課題への対応を優先して取り組むこととし、その内容や進め方等はできるだけ早くお示ししたいと思っています。

農業

問 本県では農業経営の規模が拡大しており大規模経営の担い手への農地集積が一層進むと考えられる中、猛暑日における大規模経営の高温化対策について伺います。

答 水田作では、「みずかがみ」のように高温でも影響の少ない水稻品種の開発や普及、夏場の適正な水管理、高温時の生育に応じた施肥体系など安定生産技術の普及指導を実施しているところだ。

また、農作業の省力化を図る乗用の高性能機械の導入や、水管理の遠隔操作やドローンを活用した省力防除など、いわゆる「スマート農業」は高温時の作業負担の軽減でも有効と考えます。今後も、水田経営の大規模化は進展することから、高温時の作業の効率化と併せて、高温に強い「みずかがみ」の作付拡大や作期の分散、収量・品質の低下を軽減させる栽培管理技術の導入を促進します。



ドローンを活用した省力防除

こうした技術や機械の導入は、国の経営体育成支援事業等の活用を図るほか、現場では県

の普及指導員による指導・支援をしっかりと行っています。

健康・医療政策

問 昨年度末に改定をされた「健康いきいき21」健康しが推進プラン(第2次)を受けて、「健康しが」の推進や健康寿命の延伸に向け、今後どのような取組をするのか伺います。

答 プランを改定し、健康寿命の延伸と健康格差の縮小に向け、計画的に推進することとしました。プランでは「健康な人づくり」として、健康影響に関する情報提供を行うなどの健康増進に係る取組や、健診受診率の向上を図るなど生活習慣病の発症防止、重症化予防の取組を行うこととしていきます。

「健康なまちづくり」としては、飲食店や量販店などでの受動喫煙対策を行うほか、企業における健康経営等が積極的に推進されるよう、セミナー開催などの支援を行います。

また、今年度は「健康しが」共創会議を設置し、文化、スポーツ、観光、食など多様な主体の連携のもと、県民の健康づくりのための新たな活動の創出に向けた取組を開始したところです。今年度を「健康しが」の推進に向けた土壌づくり、基盤づくりの年と位置付け、今後の持続可能な動きに結び付けていきます。

環境政策

問 森林政策をはじめ、環境にかかる様々な課題の解消に向けた今後の施策の方向性について伺います。

答 人の関わりが減少するに伴う新たな課題が現れつつある地域の一つが、森林ではないかと考えます。森林地域では、木材価格の低迷等から森林資源が十分利用されず、森林の多面的機能と生態系のバランスが損なわれ、また、山村の生活や地域の維持も困難になってきています。これらの課題解決に向け、間伐の促進や獣害対策など、森林を「守る」取組と、木材の流通加工体制の整備や人材育成による、森林資源を「活かす」取組を進め、さらに都市部との交流や新たな産業おこしなどにより、山村の活性化を図ることで、森林に人やカネが投資される「循環」を意識した取組が求められています。



間伐作業(プロセッサによる造材作業)

こうした施策をはじめ、第五次環境総合計画では、「琵琶湖をはじめとする環境の保全再生と自然の恵みの活用」、「気候変動への対応

環境負荷の低減」、「持続可能性を支える社会づくり、人育て」、「国際的な協調と協力」の四つの柱の下で施策を進めていく考えです。

児童福祉

問 東京都目黒区での児童虐待死事件を受けて政府は、緊急総合対策をまとめましたが、それを受けた県の取組について伺います。

答 「転居した場合の児童相談所間における情報共有の徹底」については、従前より相手方の児童相談所と直接対面し引継ぎを行っており、また「子ども

の安全確認ができない場合の対応の徹底」についても、従前より通告受理後48時間以内の目視による安全確認を徹底しています。

「児童相談所と警察の情報共有の強化」については、現職の警察官を各子ども家庭相談センターに配置し、常に所轄の警察署と密接に連携できる強みを活かし、情報共有の徹底を図っていきます。

また、従来から取り組む「子どもの安全確保を最優先とした一時保護等の措置」については、今年度より県と市町がリスクを客観的に共有できるアセスメントシートの導入を進めています。児童相談所の体制強化については、年内に国で策定予定の「児童虐待防止対策体制総合強化プラン」に基づき、着実に取り組まします。

議会からのお知らせ

●県議会議員補欠選挙の結果

6月15日に告示され、同月24日に執行された県議会議員補欠選挙で、桑野仁議員(大津市選挙区)、周防清二議員(東近江市日野町愛荘町選挙区)がそれぞれ当選されました。

●常任委員会委員・特別委員会委員の変更

補欠選挙に伴い、常任委員会では、桑野仁議員が文教・警察常任委員会に、周防清二議員が厚生・産業常任委員会にそれぞれ所属することとなりました。また、特別委員会では、桑野仁議員が行財政・働き方改革特別委員会に、周防清二議員が地方創生・しがブランド推進対策特別委員会にそれぞれ所属することとなりました。

会派別議員数

(平成30年6月26日現在)

- 自由民主党滋賀県議会議員団... 22人
チームしが 県議団 ... 15人
日本共産党滋賀県議会議員団 ... 3人
公明党滋賀県議団 ... 2人
良知会 ... 2人
定数44人 ... 現員44人

傍聴の御案内

本会議や委員会はいつでも傍聴することができます。ただし、傍聴席には限りがありますので、団体で傍聴される場合は、あらかじめ御連絡ください。また、車椅子用の傍聴スペースは2席分あります。詳細については、お問い合わせください。

7月定例会議で審議した主な議案

Table with 4 columns: 議案番号, 件名, 結果. Includes items like 議第89号 (平成30年度滋賀県一般会計補正予算) and 議第90号~94号 (滋賀県税条例等).

7月定例会議で審議した決議・意見書

Table with 4 columns: 番号, 件名, 結果. Includes items like 決議第1号 (子供たちが確かな学力を身に付けるためのより一層の取組を求める決議案) and 意見書第6号 (陸上自衛隊今津駐屯地の体制維持・強化を求める意見書案).

●滋賀県議会ホームページ、Twitter(ツイッター)

本会議や委員会の開催情報、議会の仕組み、議員の紹介、会議録など、県議会の最新の情報を随時掲載しています。また、本会議の様子はライブ中継と録画配信もしています。(※スマートフォン等でも御覧いただけます。)

滋賀県議会ホームページ http://www.shigaken-gikai.jp/
滋賀県議会ツイッター (アカウント名 @shigakengikai)



●テレビ放送の御案内

9月9日(日)および9月16日(日)の夜6時半から、県議会広報番組「委員会活動レポート」をびわ湖放送で放送します。番組では、9月9日は常任委員会の、9月16日は特別委員会の、それぞれの委員の紹介、委員会の審査や県内調査の様子、委員長のインタビューなどをお届けします。また、定例会議の様をお届けする「県議会ダイジェスト」を下記のとおりびわ湖放送で夜10時から放送予定です。どうぞ御覧ください。

<9月定例会議の放送予定>
9月21日(金) 代表質問 9月27日(木) 一般質問 9月28日(金) 一般質問
10月1日(月) 一般質問 10月2日(火) 一般質問 10月12日(金) 最終日

岡山県、広島県および愛媛県に見舞金を贈呈

滋賀県議会議員一同(全44議員)は、平成30年7月豪雨により大きな被害を受けた岡山県、広島県および愛媛県に対し、それぞれ10万円の見舞金を贈呈しました。

用語解説 ※2「健康寿命」…健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間。

この印刷物は古紙パルプを配合しています